

2026年度 高次脳機能障がいセミナー実務編

高次脳機能障がいの対応の実際

高次脳機能障がいがある当事者やご家族は、退院後の生活で困ることが多いと言われています。医療機関から地域生活へつなぐための考え方、社会参加に向けて支援をしていくための考え方等について、今回は、講義だけではなくシンポジウムを行い、参加される皆さまと意見交換を行いながら、改めて支援について考える機会としたいと考えております。これまでにない試みとなりますので、ぜひ、ご参加ください！

日時

2026年12月12日(土) 10:00～16:20(受付9:30～)

会場

神奈川工科大ITエクステンションセンター

(小田急小田原線本厚木駅北口徒歩4分) ※神奈川工科大学のキャンパスとは異なります

対象

高次脳機能障がいに関係する
保健・医療・福祉・行政等の関係者



定員50名
受講料
1500円

申込
方法

①「地域リハ支援センター」ホームページ ②QRコード
※受講の可否は受講日の約1か月前までにメールアドレスにご連絡いたします

プログラム

10:05～10:50 症例を通した対応の実際

神奈川リハビリテーション病院 リハビリテーション科 医師 小野航暉

11:00～12:10 シンポジウム①困った症状への対応～易怒性・病識・固執など～

座長 小野航暉 登壇者 神奈川リハビリテーション病院 公認心理師 川上克樹
神奈川リハビリテーション病院 理学療法士 佐藤 将
神奈川リハビリテーション病院 作業療法士 松岡紗来

13:10～13:55 職業準備性について～基盤となる生活の視点から～

神奈川リハビリテーション病院 職業指導員 畠山咲

14:05～15:35 シンポジウム②安定した生活ためにできることを考える～当院での取り組み～

座長 小野航暉 登壇者 佐藤将・松岡紗来・川上克樹・畠山咲

15:40～16:10 社会資源について

神奈川リハビリテーション病院 ソーシャルワーカー 佐藤健太

16:10～16:20 質疑応答